



# 大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】  
「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」

令和4年12月23日  
第14号  
校長 柴田美由紀



**2学期終了…謙虚な心で今学期を振り返り、新しい年への決意を固めよう！**

1年で最も長い2学期も今日で終わります。皆さん一人一人の2学期はいかがだったでしょうか。まず、行事面です。2学期は2大行事がありました。体育大会は、短い練習時間でしたが、3年生の力強いリーダーシップのもと、一人一人が主役であることを自覚し、各ブロックとも団結を深めて燃えることができました。文化発表会も、各学級ともいろいろな課題を克服しながら、自分たちの合唱を創り上げることができ、聴く者に感動を与えることができました。

振り返れば、みなさんは、これらの行事を通して、あるいは日々の学校生活の一つ一つの地道な取組によって、協力する喜びを味わえ、友達の新たなよさも発見できたと思います。まさに、今年のスローガン『信頼』を体現してくれたように思いますし、人間的にも着実に成長してくれているとうれしく思います。

では、学習面では、設定した目標は達成できたか、計画は妥当であったか、改善策はうまくいったかを評価してみましょう。3年生は勝負の冬休みです。「成功とは成功するまでやりつづけること。失敗とは成功するまでにあきらめてしまうこと。」という格言があります。エジソンは電球を作り上げるまで、一万回失敗したそうですが、「私は実験において失敗など一度たりともしていない。これでは電球が光らないという発見を、今まで一万回ただけだ」と語ったそうです。諦めず行動している限り、確実に力が作用し、何か変化して、結果学力が身に付いていくのです。がんばりましょう。

最後に生活面ですが、この2学期を振り返るとき、行事などでの皆さんのがんばり、団結力が発揮された一方で、心ない言葉を平気で友達に向けてしまう場面がいくつかあったように思います。このことだけは、2学期を振り返って、皆で真剣に反省しなければならぬことだと思います。

よりよい人間関係づくりの基本は、「相手の身に心を行き届かせ、言葉を行き届かせる」ことに尽きると思います。皆さんには決して言葉の横着者、怠け者になってほしくないと願っています。相手の心の波長に自分の心の波長を合わせるために、言葉は惜しみなく使わなければいけないのだと思います。最近ではLINEなどSNSでの心ない書き込みから友達を傷つけ思わぬトラブルに発展するケースも増えています。私は、みなさんに「言葉のこわさ」というものを知ってほしいと思っています。「舌の紡ぎ出す言葉は、どんな切れ味のよい刃よりも、猛毒を塗った矢よりも強い。」というアイヌのことわざもあります。大人でも子どもでも「人は言葉で沈み、言葉で生きる」ものです。大原中学校が目指してきた「学校における人権文化の確立」も、このような「相手の立場に自分を置き換えて考え、悩みや苦しみ、悲しみや願いを理解し、一歩でも相手に近づく」ための言葉や行動を大切にすることが土台であったはず。「行く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」のです。また、相手を笑顔にする心通わせるあいさつも大原中の伝統です。自分からしっかりと挨拶を行っている人も多くおり、たくさんの方の元気を与えてきています。大切にしていきたいと思います。来たるべき新しい年は、この大原中が「相手を笑顔にさせる言葉かけ、そしてあいさつ」のできる人で、一杯になってくれることを期待します。

## 「普通といわれる世界に」…「おごおりっ子からのメッセージ」

11月5日

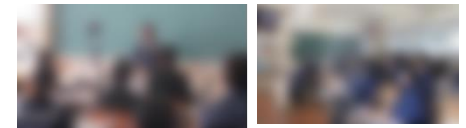
(土)に小郡市文化会館で「おごおりっ子からのメッセージ」が開催され、本校からは3年1組の さんが学校の代表として「普通といわれる世界に」と題し、共生社会や心のバリアフリーの大切さについて思いを語ってくれました。そのまっすぐな訴えは大きな共感を呼び、満場の拍手が送られました。



## 「リバティフェスタ」が開催されました

11月12日(土)に大原中校区人権のまちづくり主催によるリバティフェスタ

が3年ぶりに開催されました。午前中みのオンラインによる開催で、本校では、土曜授業として参加しました。フェスタでは、高校生平和大使の修館館高校 さんをお招きしての講演や、大原小学校・東野小学校からの発表がありました。子どもたちはこれらの思いや願いを自分自身にくぐらせ、平和の尊さや、自分そして他の人の人権を守ることの大切さについて学びを深めました。



## 1年生「福祉体験学習」…三井高校ボランティア部を招いて

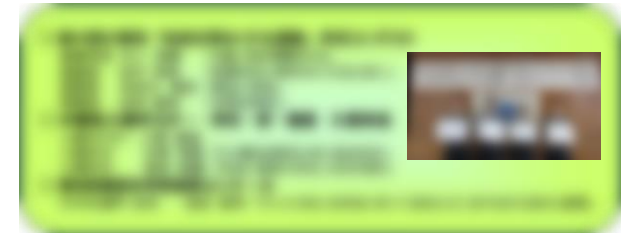
11月8日(火)に1年生「福祉体験学習」を行いました。講師として三井高校から2名の先生と15人の生徒を招いて、「福祉とは」「三井高校ボランティア部による劇と手話体験」という内容で講話や実技の指導をしてもらいました。子どもたちは、この学びを通して、手話は人が互いを理解し合い、手をたずさえて暮らしを築いていく上の大切な言語であることを実感しました。



## 数々の入選・入賞 おめでとう！

この2学期、様々な団体が募集した作文コン

テストや短歌、ポスターなどでうれしい入選・入賞があいづぎました。いざいざ、作者の確かな主張や内容、感性が高く評価され受賞したものです。右にまとめて紹介します。よくがんばりました。おめでとう。



## 「すべての子どもたちの教育条件に関する署名への御協力」ありがとうございました。

署名活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区で署名活動に回っていただくことはできませんでしたが、校区内の企業や団体署名を、そして、2学期の学校行事やPTA活動、人権のまちづくりの活動等で、趣旨に御賛同いただける方に個人署名をしていただきました。おかげさまで、11月7日にはこの署名をもって市教育委員会へ陳情に伺いました。12月26日には、市教育委員会と学校・地域の代表者がこの署名を持って県教育委員会への陳情に行きます。皆様の御支援と御協力に重ねてお礼を申し上げます。